平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	産学協働講座(経営分析の実際)(Academic-industrial cooperetion)			**授業コード**	E048751
担当教員名	吉本　圭一郎、橋本　堅次郎			**科目ナンバリングコード**	–
配当学年	3	**開講期**	後期		
必修・選択区分	選択	**単位数**	2		
履修上の注意または履修条件	この授業は，最低限の会計知識があるという前提のもと，チームで対象企業を分析し，課題解決策を発表してもらいます。授業は演習形式で行います。演習形式ですので，発表者はもちろん，参加者も入念な事前・事後の準備が求められます。なお，履修人数に制限を設ける場合がありますので，1回目の授業には必ず参加して下さい。				
受講心得	授業の性質上，無遅刻・無欠席を厳守して下さい。 事前課題・事後課題への取り組みを行うこと。				
教科書	授業中に適宜紹介します。				
参考文献及び指定図書	授業中に適宜紹介します。				
関連科目	経営分析，財務管理論，原価計算論，管理会計論，財務諸表論，監査論などの会計関連科目				

授業の目的	①社会環境の変化や企業情報、決算書などから企業が抱える課題を読み解く力を養う。 ②企業戦略を支援するソリューションを考え，企業に提案する実践力を養う。
授業の概要	大分県に実在する企業を題材として，金融機関(三井住友銀行)とともに，事例とする企業向けのソリューション提案を考える授業です。具体的には，チェーンレストラン事業を全国展開している株式会社ジョイフルの現状を分析し，ジョイフル向けのソリューション提案を考えていきます。この授業は，金融機関が実際にどのような視点や手法で企業分析をおこなっているか，またさらにそれらを活用してどのようなソリューション提案をおこなっているか，などを学べる実践的な授業となっています。

〇授業計画	
学修内容	**学修課題(予習・復習)**
第 1 週 ： ガイダンス ・授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明。 ・チーム編成　・情報共有　・活動方針決定　・役割分担の決定。	配布資料の復習(1時間)
第 2 週 ： 業界分析(1) ・対象企業(ジョイフル)の担当者による飲食業界および企業の現況についての説明。 ・チームにおける現状整理と課題設定(事後課題)。	配布資料，事後課題の復習1時間
第 3 週 ： 業界分析(2) ・金融機関(三井住友銀行)の担当者による金融業界・業務等の説明を実施。 ・ワークショップ(授業内容についてのまとめと認識の共有)。	配布資料，課題の復習1時間
第 4 週 ： 企業分析(1) ・主に定性的な企業分析の手法と財務データとの関連についてフレームワークの説明。 ・ワークショップ(授業内容についてのまとめと認識の共有)。	配布資料，課題の復習1時間
第 5 週 ： 現場見学 ・ジョイフル見学(本社などの施設を予定)。 ・レポート作成(事後課題)。	配布資料，事後課題の復習1時間
第 6 週 ： 企業分析(2)	配布資料，事後課題の復習1時間

・金融機関（三井住友銀行）の担当者による企業分析のケーススタディを実施。 ・ワークショップ（ディスカッション）。 ・企業分析レポート作成（事後課題）。	
第 7 週 ： 財務分析（1） ・主に定量的な企業分析の手法，とくに財務比率分析の手法について説明。 ・ワークショップ（授業内容についての質問、まとめと認識の共有）。	配布資料，課題の復習1時間
第 8 週 ： 財務分析（2） ・金融機関（三井住友銀行）の担当者によるジョイフル財務分析のケーススタディを実施。 ・ワークショップ（ディスカッション）。 ・財務分析に関するレポート（事後課題）。	配布資料，事後課題の復習1時間
第 9 週 ： ソリューション組立（1） ・金融機関（三井住友銀行）の担当者によるソリューション組立の説明，演習を実施。 ・ワークショップ（ディスカッション）。 ・中間レビューの準備（事後課題）。	配布資料，事後課題の復習1時間
第10週： 中間レビュー ・チームごとに中間発表を実施。 ・金融機関（三井住友銀行）の担当者から講評をいただき，改善点を整理。 ・中間レビューの改善（事後課題）。	配布資料，事後課題の復習1時間
第11週： ソリューション組立（2） ・中間レビューで指摘された改善点をいかにソリューション組立に反映させていくか検討。 ・ワークショップ（ディスカッション）。	配布資料，課題の復習1時間
第12週： 企画書作成（1） ・ワークショップ。 ・企画書の作成。　・口頭発表準備(パワーポイントの作成)。	配布資料，課題の復習1時間
第13週： 企画書作成（2） ・ワークショップ。 ・企画書の作成・提出。 ・口頭発表準備(パワーポイントの作成・発表練習)。	配布資料，課題の復習1時間
第14週： 最終プレゼン ・全チームによる成果発表会。 ・金融機関（三井住友銀行），対象企業（ジョイフル）担当者からの講評。	配布資料，課題の復習1時間
第15週： まとめ ・振り返り。	
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅰ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考	ワークショップでは，成果物としてチームで企画書（レジュメ）の提出と最終の口頭発表を求めます。企画書作成方法など不明な点は，授業時間外でも都合の良い時間に遠慮なく質問して下さい。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	①企業分析への関心：企業や業界に関心を持ち，その分析手法を実際に活用できる。 ②チーム活動：チーム活動に取り組むことができる（主体性）。また，自分の役割を果たすことができる（状況把握力）。 ③時間管理：無遅刻，無欠席で授業に参加できる（規律性）。
【知識・理解】	①情報分析力：収集した情報を分析し，必要な知識を抽出し，理解できる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①コミュニケーション力：チームのメンバーと話し，自分の意見を理解してもらうことができる （発信力）。また，相手の話や意見を聴くことができる（傾聴力）。 ②プレゼンテーション力（情報スキル，発信力）：自分の責任範囲の発表ができる。
【思考・判断・創造】	①情報収集力：インターネット等を用いて情報を収集できる。 ②課題発見力：収集した情報を分析し，テーマの問題点や課題を見つけることができる。 ③文章力：自分の責任範囲の成果が記述できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	20点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		5点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	15点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	・フィードバックシートの書き込み状況を総合的に評価します。（40点） ・最終プレゼンのパワーポイント資料，企画書を総合的に評価します。（チーム評価＆個人　評価で25点）
発表・その他（無形成果）	・最終プレゼンを総合的に評価します。（チーム評価＆個人評価で10点） ・授業に欠席したり遅刻・早退せずに，意欲的に取り組んだ場合，評価の対象とします。（15点） ・チーム内でのコミュニケーションに積極的に取り組んだ場合も評価の対象とします。（10点）